

(議長)

町民福祉課所管、予算並びに関連議案について、一括補足説明を求めます。

「町民福祉課長」

「町民福祉課長」(補足説明)

(議長)

「ひのき荘荘長」

「ひのき荘荘長」(補足説明)

(議長)

質疑希望ありませんか。

「小林議員」

「小林議員」

2つほどお訊ねしたいと思います。

1つは地域福祉計画の中にも述べられていますけれども、配食サービスの現状について今の利用者はどうなのか、それについての町民への宣伝といえますか、利用促進の所の取り組みがあれば教えて頂きたい。

以前長野県で福祉宅配のお弁当という事で、そこではその栄養士さんが塩分制限であったり、そういう様なメニューを作っていますね、それで色々利用者へ便宜を図っているとテレビに出ておりましたが、そういう様な事もぜひ江差ではお考えないのか、考えているのかその辺ちょっと教えて頂きたいと思います。

それともう一点、国保の前回レセプトチェックという事で、人も配置して強化するんだという様なお話ありましたが、それで効果と言いますか、どうなのか。

現在医療関係の方では、レセプトが電子請求になって、かなり国保連合会何かではですね、例えばAさんがA、B、Cと3つの病院に行っていれば、3つの病院でどういう薬が出て、例えばAとBの病院が同じ薬が出ていけば、それを一本にするという指導が進めてきていますが、そういう動きと合わせて江差町の国保会計を少しでも軽くしていく上で、そういった取り組みへの参加とか、そういうお考えであればお聞きしたいと。この二つです。

(議長)

「町民福祉課長」

「町民福祉課長」

まず第一点の配食サービスの方でございます。現実 23 年度におきましては、利用者が一名と一事業者という事で、これが 23 年度の現状にあつてございました。

それでサービスそのものを知らないという方もいるのではないかという御声も結構ありましたものですから、改めてですね、3月の広報に配食サービスのサービス内容と、利用者、事業者の募集の内容を広報で周知させていただいた所でございます。

その間、新たなですね、事業者の相談がございまして、検討するという事でその時はお帰りになったんですけれども、そういう動きもございまして、これから3月末まで利用者等を募集をして、取り組んでいきたいと考えていました。

他の自治体の例を教えてくださいけれども、実はサービス内容としては 650 円で事業者に作って頂いて、利用者負担という事で 350 円頂いている所です。

その範囲の内容での目途という事になるものですから、事業者のやり繰りもございまして、その辺の内容につきましては事業者に任せていたという経過でございます。

それで町の方で栄養士さんの活用をしてメニュー云々という事でございますけれども、それにつきましては色々とそういう部分に踏み込んでですね、利用者の声も聞きながらですね、色々と検討してみたいなという風には考えていました。

それからレセプトチェックについてでございますが、突合点検、縦覧点検を実施している所でございます。

薬等についても確認は行っており、効果化に向けて努力している。点検数は月に 3, 0 0 0 件位を行っているという様な内容でございます。

(議長)

「小野寺議員」

「小野寺議員」

最初に議長お願いなのですが、昨日も一般質問で要援護者の問題、再質問等でかなり、もしかしたら議員の皆さんも分かりづらいやり取りがあつたのかもしれない。

それで課長にお願いなんですけれども、この間、要援護者の事業を進めていく上で一番の大事な個人情報をどうするかという問題。簡単に言うと、町がお

さえている個人情報全部出すか、本人の同意、もしくは手を挙げていいという、そこにかかってくるんですけれども。若干、私が言ってきた事と、担当課長がこの間言ってきた事と、ちょっとズレがあるんです。国の解釈も含めて。

それで、これまでの答弁、私が言った事も含めてきちんと精査して、私の言っている事が間違いだ、もしくは町の部分でもう少しここら辺はきちっと精査しなきゃならない、後でよろしいので課長、調べて欲しいです。

国の通達の解釈というかで良いとか悪いとか、江差町でどうするかではなくて、国の通達等の解釈でこの間私も読んでたらね、私が言っている部分と担当課長が答えている部分、若干ズレがあるんです。私が間違っているとか、江差町の方の部分について、ちょっと説明が足りなかったという事も含めて、後できちんと書類等で含めて出して欲しいんです。大事な問題なので。お願い致します。課長の方には事前に言っております。

よろしいですか、課長。という事で。

それで質問致します。昨日の萩原議員だったと思うのですが、一般質問で札幌市の孤立死の問題も含めてですね、孤独死というのですか。札幌の障害者の部分でちょっと私メモ書きが不正確かもしれませんが、町長の答弁で、要はあの積極的に自分の方から支援を求めないという部分もニュアンス的にあったのかもしれませんが、少なくとも札幌市の例の障害者の姉妹が亡くなった部分について言うと、これ後からわかっている事なんですけれども、正式に市役所の方に、区になるのでしょうか、福祉事業所になりますが、きちっと保護のお願いに行っているんです。あの問題に関して言えば、役所の窓口の対応の問題なんです。

お聞きしたいんですけれども、もしああいう事例を取り上げて、江差町で何らかな教訓にするとすれば、札幌の場合は政令指定都市というか、福祉事務所ですから、直接社会福祉関係、生活保護含めての窓口ですから、江差町とは違います。江差町においてもああいう部分についてはきちっとそこで、その門前払いだとか、中身見れば色々あるんですけれどもかなり事細かくやって、結果的には追い返しちゃったんですが。きちっとそういう問題については総合的な窓口、町民課になると思うのですが、全国的に相談に来ても、機械的に追い返すとか、そういう事の無いように、改めてこの期間の教訓について、もし考えがあればお聞きしたいなと思います。私の捉え方が違っていたらちょっと教えてください。それが1つです。

2つ目。昨日の地域福祉計画でかなりやり取りさせて頂きました。昨日の部分は一応それはそれとして押さえておいて。

問題は確かに今年色々検討しなければなりません。ではこの計画を、例えば

5年なら5年でスパンでこういう風にやっていくんだという部分を早急に作っていかねばならないと思うんです。その点もう少し具体的に実行性をどういう風に考えているのか、考え方をお聞きしたい。

それから最後、地域福祉計画の中で先程も小林議員の方から給食サービスの話ありました。

私もう1つ、地域福祉計画にあります、昨日大門さんもちよっと出ていましたが、除雪サービスの事についてお聞きしたいんですけども、今年の冬も特に昨日の答弁の中で数が多かったという部分もありました。率直に現状の除雪サービスの町の施策では、かなりゆるくないと私は思うんです。これは相当改善しないと、実態から言っても地域の大雪の場合の混乱性を解決する事にはならないと思うんですが、地域福祉計画の中でどのように除雪サービスの展開を考えていらっしゃるのか。現時点の考えで宜しいです、お願い致します。

(議長)

「町民福祉課長」

「町民福祉課長」

まず第1点。昨日の一般質問との関係の御質問でございますが、昨日の萩原議員に対する答弁の真意という事はですね、昨日申しあげました様に高齢者や、障害者への方々への相談、支援機能を重要性、必要性の意を強くするものであるという風に答弁させて頂きました。

従って私共はそういう御相談がございましたら、誠意を持って対応させて頂くという考え方でございます。

それから2番目の地域福祉の臨時計画の関係でございます。これにつきましては、社協と一体となった推進を図るという事で昨日も御答弁申し上げていました。これからですね、社協と実行性のある推進の仕方について協議、検討していきたいという風に考えております。

それから3番目の除雪サービスについてでございます。これについては昨日も申しあげましたが、担い手の問題、利用料金の問題、委託の賃金形態の問題とか色々ございます。これについて、来期に向けて検討したいという事で御答弁申し上げました。今御質問の内容についてもですね、種々色々の角度から検討して、来期に備えたいという風に考えております。

(議長)

「小野寺議員」

「小野寺議員」

わかりました。わかりましたが、この問題、除雪サービスの問題はもう数年同じ様な事を繰り返しているんですよね。この点に関して1点だけ。対象が町内に子供さんがいたら駄目、という部分については、私はそこを十分に見直しの1つとして入れてもらいたいのですが。その事も含めた検討という事で良いのかどうか、率直に言って、ああいう制限があったら限られてしまうと思うのですが、その点どうなのか1つ。

それから後先になりましたが、その地域福祉計画の具体化に向けて社協という話がありました。

わかりますが、社協という意味合いはですね、今度1人社協に行く専門員の方がいらっしゃるんですが、多分そういう方も含めてなんでしょうけれども。ただこの間の論議は、この地域福祉計画、要援護者の問題もそうですけれども、まさしく町内会だとか、色々な団体、社協も含めてですよ、社協だけじゃなくて。交えて実行性ある計画を作っていかなかったら、多分中々進まないと思うんです。

私は今到達点の地域福祉計画を1年2年3年立てる為にもですね、社協も交えた色々な、今回策定委員会作りましたけれども、ああいう様な形で進めて行くと。

そして1年1年検証して、2年目もどうなんだと。地域の力を借りなかったら絶対、私は成功出来ないと思うんです。そういう意味で、単に社協と町とだけじゃなく、地域を交えた実行性、若しくは検証で毎年毎年進めていくという事を私としては要求したいんですけれどもその考え、お聞きしたいと思います。

(議長)

「町民福祉課長」

「町民福祉課長」

除雪の方でございますけれども、そういう除雪にあたっての町内子供さん達がいる場合は駄目だとかという、そういう制限も色々ございますけれども、それらの部分も含めましてですね、色々指示を色々検討してみたいという風に考えてございます。

それから2つ目の地域福祉の推進にあたってですが、今議員おっしゃった様に、私共も地域の力を借りながらですね、私前からお話をさせて頂きました、支え合い、助け合いという精神の下にですね、地域の福祉の方を推進させて頂きたいという考えでございます。当然その為の社協の方に地域福祉専門職の配置でございまして、連携を強化しながらですね、是非推進していきたいという

風に考えております。

(議長)

他に質疑希望ありませんので、町民福祉課・ひのき荘所管の予算並びに関連議案についての質疑を終わります。